

大宮スグ

2026年7月28日

古賀勇雄
太田美月
田中瑞貴
久保仁

一生七心ねえい言憶

被爆者木内さん思いを語る

今回は小学4年生で被爆した木内さんの体験談をお聞きしました。当時のことについて木内さんは「戦争で食料が少なくて、お米が食べられないのは配給のサツマ

つたえうで。そして目を覚めた時に既に木内さんは1週間は暗闇の状態で何が何だか分からなかった。でも次第に周りが明るくなり、

の建物も全部つぶれていて、反響がいまい。本当に何が起こったのか分からなかった。また戦後にはアメリカが日本に上陸する時、アメリカ人は日本の人形をうばつてしまいうわさを聞いた木内さんはあわてて持ってきた人形を返す

のサツマイモ畑に埋めこいた思い出がある。述べた。90歳になつた今でもその記憶は忘れません。二度ととまじい思いを繰り返してはならないと若い世代に伝えていきたい。



絵本で"平和を伝える

命を大事にする

指田さんが書いた、ヒロシマ消えたかぞくは鈴木さん一家の原



大宮の戦争史跡

みんなが望む平和



原爆外資者慰霊の碑が立てられた理由について平和クラブの方は、「広島で原爆によって被爆し、その犠牲者に移り住んでくれた人々が重なり慰めるためです」と話しました。そして「二度と核兵器が使われないよう、その被害を願って県立別所公園の地のほりに立てられた」と話しました。香園小4年 田中瑞貴



常泉寺が歴史を語る

みなさんは常泉寺で普通の寺で思っているだろうか。この寺には、ついでにこの寺には「善大興の墓」があり、またその史跡に

国策で作られた神社

みなさんは埼玉縣護国神社をご存知だろうか。この神社は元々聖徳太子という名で、死者をまつていたのでし



川口市立高等学校附属中学校 二年 後仁

各地で読めることが多く、大宮東小6年 太田美月